

第23回 広島湾研究集会

カキ、アサリの持続的な生産に向けて

近年の気候変動や貧栄養化などの環境変化により、広島湾におけるマガキ養殖やアサリ漁業の生産が不安定になっています。マガキ養殖では採苗不調や成長不良が発生し、アサリについても成長不良や斃死が問題となっていることから、それらの原因究明とともに対策が求められています。本研究会では、マガキ、アサリの持続的な生産に向けた試験研究や取り組みについて紹介し、現状を理解するための情報共有の場とします。

日時

2025年
9月3日(水)
13:00～17:00

会場 ※オンライン併用

合人社ウェンディひと・
まちプラザ(広島市まち
づくり市民交流プラザ)
マルチメディアスタジオ

〒730-0036
広島市中区袋町6番36号

参加登録：
下記URLまたはQRコード
からお申込みください
(締切：8月26日)



<https://forms.office.com/r/sbbRZRrfrB>

座長：阿保勝之(水産機構技術研)

① 新技術導入による餌料環境モニタリングの高度化 ～マガキ天然採苗の安定化を目指して～

13:10～13:40 岡村知海、松原 賢(水産機構技術研)

② マガキ浮遊幼生の鉛直分布と輸送シミュレーション

13:40～14:10 鬼塚 剛(水産機構技術研)

③ 漁場環境観測データを活用した養殖マガキの成長予測

14:10～14:40 高辻英之(広島総研水海技セ)

一休 憩一 14:40～15:00

座長：戸井真一郎(広島総研水海技セ)

④ 干潟保全の取組「松永湾今昔物語」 ～尾道産アサリの再生活動について～

15:00～15:30 川崎育造(クニヒロ株式会社)

⑤ アサリ施肥試験についてモデル解析して分かったこと

15:30～16:00 山本民次(流域圏環境再生セ)

一休 憩一 16:00～16:10

総合討論 16:10～17:00

座長：山本民次(流域圏環境再生セ)，富山 毅(広大院統合生命科)

共催 (国研)水産研究・教育機構水産技術研究所，広島大学大学院統合生命科学研究科，
広島県立総合技術研究所水産海洋技術センター
後援 流域圏環境再生センター
コンペナー 阿保勝之，富山 毅，戸井真一郎，山本民次
お問合せ abo_katsuyuki81@fra.go.jp(阿保)